

英検

各位



2020年6月26日
公益財団法人 日本英語検定協会
株式会社 EduLab

速報

在宅で「英検」CBT版が受験可能となる 新 CBT サービス提供に向けた共同開発のお知らせ

公益財団法人 日本英語検定協会（東京都新宿区、理事長：松川孝一、以下「英検協会」）は、教育サービス事業を展開する、株式会社 EduLab（エデュラボ、東京都渋谷区、代表取締役社長：高村 淳一、以下「EduLab」）と共同で、今後、在宅で実用英語技能検定（以下、「英検」）の CBT 版が受験可能となる、新 CBT サービス提供に向けて開発に着手したことを、まずは速報としてお知らせいたします。

このサービスでは、試験監督システムとして EduLab が開発する、国内のテスト関連サービスとしては初のオンライン試験監督システムを用い、AI と人とのダブルで本人確認や不正行為のチェックを行います。

現在、国内で提供されている、在宅受験方式の試験は、欧米のシステムを活用したものです。英検協会としましては、今後、EduLab と共同で、実導入に向け、AI をフルに活用し、現存のシステム以上の厳正性と公正性を追求すべく、開発を進めてまいります。

なお、サービス提供の時期につきましては、できるだけ早期に、今年度（2020 年度）中の開始を目指してまいります。

詳細は決定しましたら、別途お知らせいたしますので、今暫くお待ちくださいますようお願い申し上げます。

■ 株式会社 EduLab について

EdTech（教育×テクノロジー）分野における新事業の開発・投資、教育 IT ソリューション・プラットフォームの提供、次世代教育の支援、スクールマネジメントなど、最新のラーニングサイエンスをベースに次世代の教育ソリューションを実現します。東京、シアトル、ボストン、シンガポール、香港、北京、上海、プネ等を拠点として展開しています。